

■ 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取組み

1. 交通規制計画の工夫

(1) 工事期間の設定

お客さまへのご迷惑を最小限とするため、迂回ルートとなる路線で実施予定の集中工事、リニューアル工事、その他イベントなどと重複しないよう工事期間を設定させていただきました。

(2) 工事の集約による交通規制回数の抑制

本工事とあわせて道路の維持修繕作業や点検作業などを実施することで年間の作業を集約し、交通規制回数を削減できるよう工夫しています。

2. お出かけ前のお客さまへの情報提供の強化

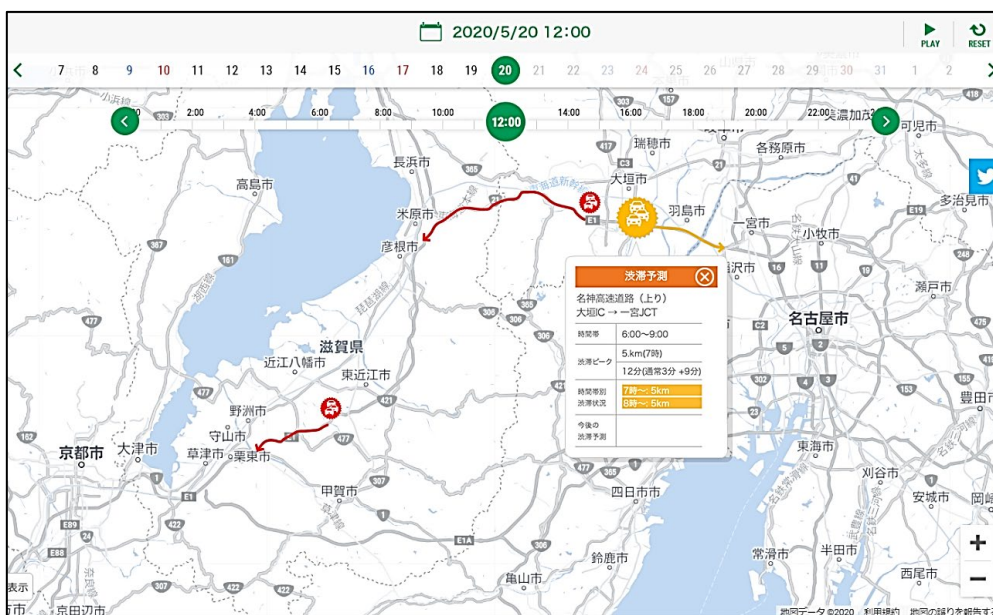
お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイトで最新の交通規制予定について情報提供させていただきます。

工事期間中は、午前中を中心に渋滞が予測されますので、お出かけ前に伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイト、ポスター、リーフレットなどの情報を参考に、東名、名神、名二環、名古屋高速、東名阪道などへの迂回やお出かけ時間の変更、公共交通機関のご利用などをご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

<伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイトにおける主な情報提供の内容>

(1) 工事期間中の渋滞予測のご提供

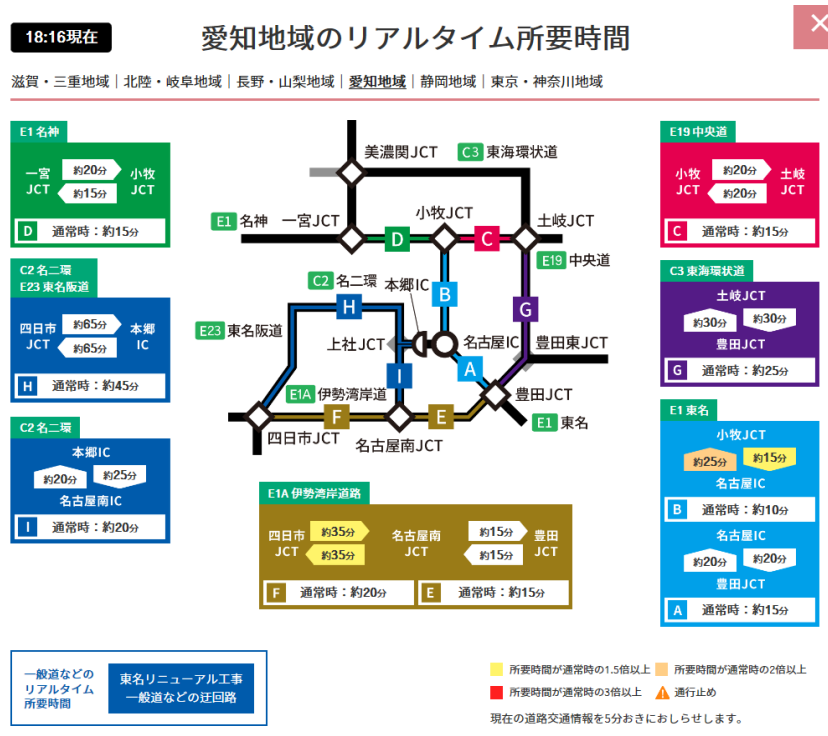
交通規制の実施に伴い、迂回やお出かけ時間の変更をご検討いただけるお客さまへの情報として、渋滞が予測される日の時間帯別の渋滞予測を地図形式で提供させていただきます。最新の渋滞予測を随時更新してまいります。



伊勢湾岸道リニューアル工事専用WEBサイトでの掲載イメージ

(2) 最新の通過所要時間情報のご提供

走行ルートを選択やお出かけ時間の変更をご検討いただけるよう、最新の所要時間情報を提供させていただきます。



伊勢湾岸道リニューアル工事専用 WEB サイトでの掲載イメージ

※所要時間は、交通状況の変化などにより実際の所要時間とは異なる場合があります。

3. 高速道路を走行されているお客さまへの情報提供の強化

IC・JCT での情報提供の強化

工事期間中は、工事区間を含む主な目的地への所要時間情報を提供するため、IC 入口や JCT 手前に仮設情報板を設置いたします。走行ルートを検討される際にご活用ください。



仮設情報板の設置状況・交通情報提供のイメージ

■ 安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

交通規制箇所や渋滞末尾での追突事故の防止

(1) 渋滞末尾警戒車の配置

交通規制箇所や渋滞末尾での追突事故を防ぐための注意喚起として、渋滞状況に応じて適切なポイントとタイミングで、交通規制箇所の手前または渋滞末尾付近の路肩に渋滞末尾警戒車を配置します。



渋滞末尾警戒車の配置例

(2) スピードの出しすぎを抑制する対策

交通規制箇所や渋滞末尾での減速や急ブレーキなどによる追突事故防止のため、あらかじめ先頭誘導のための警戒車両として、視認性の高いセーフティーカーを走行させます。お客さまの安全のためにも、セーフティーカーの走行にご理解とご協力をお願いいたします。



セーフティーカー走行のイメージ

(3) 事故発生時の早急な対応

きめ細かな情報提供とお客さまの安全のために、交通規制区間に設置した渋滞計測機器を活用し、24 時間体制で道路状況を監視するとともに、情報板や渋滞末尾警戒車でリアルタイムの情報をお知らせいたします。



24 時間監視の実施イメージ